

動物とは 離し上手に。



さまざまな国で、さまざまな動物から
狂犬病に感染するキケンがあります。
海外では、動物と距離をおきましょう。

狂犬病は、日本ではあまりなじみがありませんが、海外では今なお、
先進国でも発生している感染症です。

発症した犬だけでなく、猫、コウモリ、キツネ、アライグマなどに
咬まれてうつることがあり、発症したらまず助かりません。

現地では、素姓のわからない動物とは上手に距離をとって、
むやみに近づいたり、触ったりしないようにしましょう。

現地で動物に咬まれた場合は、すぐに傷口を石鹸と水で洗い、医療機関を
受診しましょう。動物に咬まれたなど、感染の恐れのある場合は、
帰国時に検疫所にご相談ください。

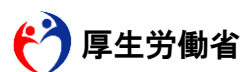


Dog etc.



in Foreign Countries

海外では、動物と距離をとろう。
Please Keep Your Distance.



狂犬病から身を守る 7カ条

狂 犬病を知る3カ条

さ まざまな国で今なお発生している感染症です。先進国でも感染する可能性があります。

犬 だけでなく、猫、コウモリ、キツネ、アライグマなど、発症したさまざまな動物にかまれてうつります。

感 染して発症すると、有効な治療法はなく死に至ります。

狂 犬病の感染を防ぐ2カ条

狂 犬病に感染した動物を、外見では、必ずしも判断することはできません。海外では、素姓のわからない動物にむやみに近づかないようにしましょう。

狂 犬病の流行地域（アジア、アフリカ等）に渡航し動物と頻繁に接触する場合は、渡航前に狂犬病ワクチンの接種をうけましょう。

狂 犬病の発症を防ぐ2カ条

動 物にかまれた場合は、すぐに傷口をせっけんとうすいでよく洗い、できるだけ早く医療機関で傷の処置をしましょう。また、狂犬病ワクチン接種の必要性について相談しましょう。

動 物にかまれたなど、感染の恐れがある場合は、帰国時に必ず検疫所にご相談ください。検疫所では医療機関の紹介も行っています。